

基盤教育科目

用語解説

「基盤教育科目」は、全学部共通で開講される授業科目です。卒業要件単位数については、所属ごとに異なりますので、前項（P. 66 ～ P. 81）の各学科の表を確認してください。

I . ファウンデーション科目群

▶ 初年次科目

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
数的処理入門		2	○	○	○	○	
日本語表現		2	○	○	○	○	
コンピュータ入門 1		1	○	○	○	○	
コンピュータ入門 2		1	○	○	○	○	

▶ 外国言語科目（英語）

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
総合英語 1	2		○	○	○	○	「総合英語 1」、「総合英語 2」、「Online English Seminar 1」、「Online English Seminar 2」は必修科目とする。（外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者を除く）。
総合英語 2	2		○	○	○	○	
Online English Seminar 1	1		○	○	○	○	
Online English Seminar 2	1		○	○	○	○	
Online English Seminar 3		1		○	○	○	
Online English Seminar 4		1		○	○	○	
Advanced English 1		1		○	○	○	
Advanced English 2		1		○	○	○	海外留学を目指す学生のみ
Academic English 1		1		○	○	○	
Academic English 2		1		○	○	○	

「Advanced English 1」及び「Advanced English 2」を履修するためには、次の条件を充足していなければならない。

「総合英語 1」及び「総合英語 2」を修得していること。

▶ 外国言語科目（ドイツ語）

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
ドイツ語 1		1	○	○	○	○	
ドイツ語 2		1	○	○	○	○	

▶ 外国言語科目（フランス語）

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
フランス語 1		1	○	○	○	○	
フランス語 2		1	○	○	○	○	

▶ 外国言語科目（中国語）

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
中国語 1		1	○	○	○	○	
中国語 2		1	○	○	○	○	

▶ 外国言語科目（日本語）

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
日本語読解中級1		1	○	○	○	○	外国人特別学生、外国人留学生及び帰国生徒のうち指定された者のみ
日本語読解中級2		1	○	○	○	○	
日本語聴解中級1		1	○	○	○	○	
日本語聴解中級2		1	○	○	○	○	
日本語読解上級1		1		○	○	○	
日本語読解上級2		1		○	○	○	
日本語聴解上級1		1		○	○	○	
日本語聴解上級2		1		○	○	○	

▶ 体育科目

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
スポーツ実習 1		1	○	○	○	○	
スポーツ実習 2		1	○	○	○	○	
ネイチャーアクティビティ 1		1	○	○	○	○	
ネイチャーアクティビティ 2		1	○	○	○	○	

Ⅱ . リベラルアーツ・サイエンス科目群

▶ リベラルアーツ・サイエンス系科目

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
知の探究		2	○	○	○	○	
未来課題		2		○	○	○	
L&S ゼミ		2		○	○	○	

▶ 人文学系科目

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
哲学		2	○	○	○	○	
芸術学		2	○	○	○	○	
日本文学		2	○	○	○	○	
中国文学		2	○	○	○	○	
西洋文学		2	○	○	○	○	
言語学		2	○	○	○	○	
ことばと文化		2	○	○	○	○	
日本史		2	○	○	○	○	
アジア・オセアニア史		2	○	○	○	○	

用語解説

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
西洋史		2	○	○	○	○	大学が認めた留学生専用科目
人文地理学		2	○	○	○	○	
民俗学		2	○	○	○	○	
国際異文化理解 1		10		○	○	○	
国際異文化理解 2		10		○	○	○	

▶ 社会科学系科目

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
法学		2	○	○	○	○	
日本国憲法		2	○	○	○	○	
政治学		2	○	○	○	○	
国際関係論		2	○	○	○	○	
経済学		2	○	○	○	○	
経営学		2	○	○	○	○	
社会・経済思想		2	○	○	○	○	
社会学		2	○	○	○	○	
社会福祉学		2	○	○	○	○	
教育学		2	○	○	○	○	
スポーツ学		2	○	○	○	○	
社会の心理		2	○	○	○	○	
認知の科学		2	○	○	○	○	

▶ 自然科学系科目

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
ものの科学		2	○	○	○	○	
生命の科学		2	○	○	○	○	
情報の科学		2	○	○	○	○	

Ⅲ. 主体的学び科目群

▶ キャリア形成系科目

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
自己との対話		1	○	○	○	○	
追手門アイデンティティ		2	○	○	○	○	
キャリアデザイン		2		○	○	○	
ボランティア論		2	○	○	○	○	
キャリア形成プロジェクト		2	○	○	○	○	
キャリア言語		2	○	○	○	○	
キャリア数学		2	○	○	○	○	
リーダーシップ入門		2	○	○	○	○	
ファシリテーション入門		2	○	○	○	○	
日本事情 1	2		○	○	○	○	外国人特別学生、外国人留学生及び 帰国生徒のうち指定された者のみ
日本事情 2	2		○	○	○	○	

▶ キャリア展開系科目

用語解説

授業科目	単位数		配当年次				備考
	必修	選択	1	2	3	4	
リーダーシップ実地基礎演習		2	○	○	○	○	
リーダーシップゼミナール 1		2		○	○	○	
リーダーシップゼミナール 2		2		○	○	○	
リーダーシップ実地発展演習		2		○	○	○	
キャリア実践英語 1		2	○	○	○	○	
キャリア実践英語 2		2	○	○	○	○	
インターンシップ実習 I		1	○	○	○	○	
インターンシップ実習 II		1	○	○	○	○	
インターンシップ実習 III		1	○	○	○	○	
インターンシップ実習 IV		1	○	○	○	○	
プロジェクト実践 I		1	○	○	○	○	
プロジェクト実践 II		1	○	○	○	○	
プロジェクト実践 III		1	○	○	○	○	
プロジェクト実践 IV		1	○	○	○	○	
スポーツケア演習		2	○	○	○	○	
交換留学 I		4	○	○	○	○	
交換留学 II		4	○	○	○	○	
海外セミナー		4	○	○	○	○	
短期海外セミナー		2	○	○	○	○	
Japan Program (Japanese History and Literature) 1		2	○	○	○	○	大学が別に定める条件を満たす者及び短期留学生のみ
Japan Program (Japanese History and Literature) 2		2	○	○	○	○	
Japan Program (Japanese Traditional and Contemporary Culture) 1		2	○	○	○	○	
Japan Program (Japanese Traditional and Contemporary Culture) 2		2	○	○	○	○	
Japan Program (Modern Japanese Society) 1		2	○	○	○	○	
Japan Program (Modern Japanese Society) 2		2	○	○	○	○	
Japan Program (Japanese Business and Management) 1		2	○	○	○	○	
Japan Program (Japanese Business and Management) 2		2	○	○	○	○	
Japan Program (Social Issues in Japan) 1		2	○	○	○	○	
Japan Program (Social Issues in Japan) 2		2	○	○	○	○	
海外インターンシップ		4		○	○	○	海外留学を目指す学生のみ
国際現地研修		4		○	○	○	
グローバルキャリア論		2		○	○	○	外国人特別学生、外国人留学生及び 帰国生徒のうち指定された者のみ
日本事情 3		2		○	○	○	
日本事情 4		2		○	○	○	
留学生キャリア形成演習 1		2			○	○	
留学生キャリア形成演習 2		2			○	○	

▶「インターンシップ実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」単位認定について

(1)～(3)の条件をすべて満たした場合、基盤教育科目キャリア展開系科目の「インターンシップ実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」の単位認定の対象となります。詳細は各学期はじめに実施するインターンシップ説明会に出席して下さい。また、「インターンシップ実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」のシラバスも合わせて参照してください。

(1) 実習内容

- ① 本学が定めるガイドラインに則った、学習効果が期待できる実習プログラムであること
(窓口にて事前相談すること。大学紹介のインターンシップは全てこの条件を満たします。)
- ② 原則として、10日間(30時間)以上の連続性のある実習時間が確保されていること
※時間数は休憩時間を除いた実勤務時間になります。

(2) 単位認定の要件となる成果物

- ① 実習日誌(様式は大学指定のもの以外も可)の提出
- ② 成果報告会での発表資料の提出

(3) 研修・成果報告会への出席

- ① 事前、事後の全研修への出席と課題提出
- ② 夏のインターンシップ参加の場合は10月に、冬春のインターンシップ参加の場合は翌年度4月に開催する成果報告会への出席・発表(詳細は後日通知)

認定単位数

時間数	単位数
30時間以上	1単位
+30時間以上(計60時間以上)	+1単位(計2単位)
+30時間以上(計90時間以上)	+1単位(計3単位)
+30時間以上(計120時間以上)	+1単位(計4単位)

- ※ 原則として、一回の実習日数が連続性のある10日間以上であることを条件とする。
- ※ 時間数は休憩時間を除いた実勤務時間とする。
- ※ 単位認定は半期ごとに行われるため、時間数を次期以降に持ち越すことは出来ない。

▶「プロジェクト実践Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」単位認定について

プロジェクト実践とは

地域社会や企業・団体などと協働し、「社会有為」・「協働性」・「発信性」を育成することを目的とした、本学教員と学生が、共に取り組む学内外の活動です。

プロジェクト実践の流れ



※プロジェクトの活動時期は各プロジェクトで異なります。

単位認定について

(1) および (2) の条件をすべて満たした場合、基盤教育科目キャリア展開系科目の「プロジェクト実践Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」の単位認定の対象となります。

(1) プロジェクト内容

- ①…本学専任教員が実施するプロジェクト（プロジェクトの内容については、説明会にて説明を行います。）
- ②…30 時間以上の連続性のある実習時間が確保されていること
※時間数は休憩時間を除いた実習時間になります。

(2) 単位認定の要件となる成果物

- ①…各指導教員からの課題
- ②…プロジェクト活動記録
- ③…研修・成果報告会への出席

認定単位数について

1 プロジェクト（30 時間以上）の活動に対して、1 単位認定します。

学生は4つのプロジェクトまで参加することができます。（プロジェクト実践Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの最大4単位まで単位認定が可能。）

単位認定は報告会参加かつ課題提出の翌学期です。

交換留学制度（交換留学Ⅰ・交換留学Ⅱ）

学内選抜を経て交換留学生に選ばれると、本学と学生交換協定を締結している海外の大学へ本学に籍を置いたまま留学することができます。

留学中も本学の授業料は必要です。ただし留学先大学の授業料は免除（一部附属語学教育機関は有料）され、本学より一定の条件を満たした学生は、奨励金支給等経済的な支援が受けられます。

毎年春学期に、翌年度の交換留学に関する説明会が実施されます。

認定単位：4 単位

応募資格：学力、人物共に優秀で交換留学の目的を理解し、本学の国際交流に貢献できること。

別途、留学先ごとに語学要件があります。詳細は募集要項で確認してください。

応募方法：国際連携企画課主催の募集説明会に出席し、その後、必要書類を提出してください。詳細は、CAMPUS SQUARE で発表します。

【中期留学】

渡 航 先：インド、オーストラリア、アメリカ、カナダ、中国、タイ、イギリス、韓国、オランダ、ドイツ、台湾、スペイン、チェコ、ベトナム

期 間：約 3 ヶ月～6 ヶ月（留学先によって異なる）

【長期留学】

渡 航 先：アメリカ

期 間：約 9 ヶ月

短期海外セミナー

語学研修をはじめ、文化や経済、歴史等を学ぶ短期留学プログラムです。

渡 航 先：年度ごとによって異なりますので、国際連携企画課へご確認ください。

期 間：約 1～4 週間

単位認定：2 単位

応募方法：募集説明会に出席し、その後、必要書類を提出してください。詳細は、春学期はじめに CAMPUS SQUARE で発表します。

▶ その他留学制度について

認定留学制度

本学学部学生の 2 年生から 4 年生で、留学するに足る一定の単位を修得した学生に限り、[あらかじめ学内の審査・許可を受けた上で](#)、自分が選んだ留学先で修学することができる制度です。

認定留学の期間は 1 学期または 2 学期とし、2 学期までは留学期間も本学の在学期間に算入しますので、休学することなく留学ができます。

認定留学が承認されると、当該学期にかかる授業料相当の奨学金が支給されます。また帰国後、留学先で修得した単位の認定を願い出ることができます。

申請資格・出願時期：出発する時期により異なります。（下記の表参照）

出願時点の学年	出発時期	修得単位に関する条件	出願時期
2 年次	秋学期※に出発	1 年次終了時点で 34 単位以上	5 月末まで
	次年度（3 年次）の春学期※に出発	春学期末時点で 50 単位以上	11 月末まで
3 年次	秋学期※に出発	2 年次終了時点で 68 単位以上	5 月末まで
	次年度（4 年次）の春学期※に出発	春学期末時点で 85 単位以上	11 月末まで

留学先の条件：認定留学の対象となるのは、本学が[協定を締結している大学](#)¹や、学位授

1. 協定を締結している大学

協定校は大学ホームページ内の「国際交流・留学」から確認できます。

与権を持つ正規の高等教育機関（大学・短期大学等）です。それ以外（語学学校等）への留学は認められません。

※出発時期は各協定校の学年暦による

単 位 認 定：最大60単位

※認定対象科目は、原則として学科科目および基盤教育科目です。留学先で修得した単位全てが認定されるとは限りません。

申 請 方 法：まずは国際連携企画課へ相談し、認定留学に関する詳しい説明を受けてください。

その他の留学²について

留学に興味はあるけれど、どのように手続きを進めたら良いのか分からない、自分に合った留学先・留学方法について相談したい等、海外留学について疑問や質問がある場合は、国際連携企画課を訪ねてください。留学情報誌や諸外国のガイドブック等揃っており、海外留学と希望する様々な相談に対応しています。

また、大学では留学以外にも様々な国際交流の機会を学生のみなさんに提供しています。詳細は、大学ホームページやCAMPUS SQUAREに掲載しますので、積極的に参加してください。

▶ 放送大学の科目及び資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合

大学で履修した科目を修得する以外に、放送大学の科目を修得した場合や、資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合、基盤教育科目の主体的学び科目群の単位として認定され、あわせて最大4単位を上限に卒業要件単位として認められます。

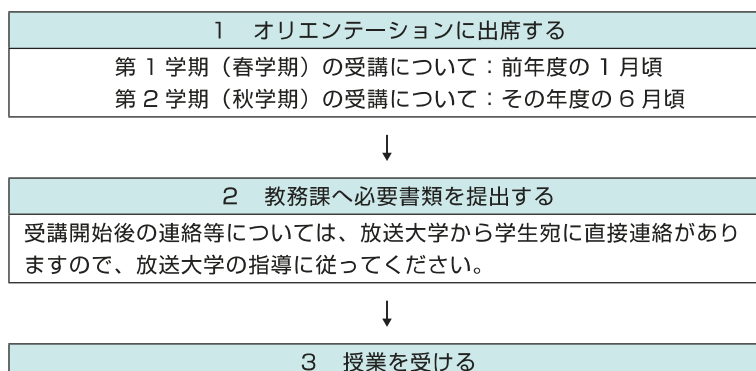
【特徴】

1. 放送大学の科目及び資格・検定試験で一定以上の成績を修めた場合に認められる単位は履修単位制限³に含まれません。
2. 放送大学の科目を履修するには、本学の履修登録とは別の手続きが必要です。なお、各学期の履修の上限は、後述の大学コンソーシアム大阪単位互換協定の科目と合わせて年間2単位までとなります。
3. 放送大学にて実施される単位認定試験を受験して合格した場合に、本学の基盤教育科目の主体的学び科目群の単位として認定されます。放送大学の単位が認められるのは、後述の大学コンソーシアム大阪単位互換とあわせて年間2単位までとなります。資格検定については、1年間に認められる単位の上限はありませんが、放送大学と資格検定の認定単位はあわせて4単位が最大です。

放送大学

本学と放送大学は単位互換協定を結んでおり、放送大学の提供するテレビ・ラジオ・インターネットによる学習にて修得した単位を認定します。放送大学の科目を受講するには、オリエンテーションに出席し、所定の手続きを行う必要があります。詳細についてはCAMPUS SQUAREにてお知らせします。放送大学の授業は、第1学期（4月～7月）、第2学期（10月～2月）に実施され、本学では第1学期を春学期、第2学期を秋学期として扱います。

【1】受講手続きについて



2. その他留学

私費留学により休学をする場合は、別途手続きが必要です。⇒P. 48を参照

3. 履修単位制限

⇒P. 129を参照。

【2】単位認定について

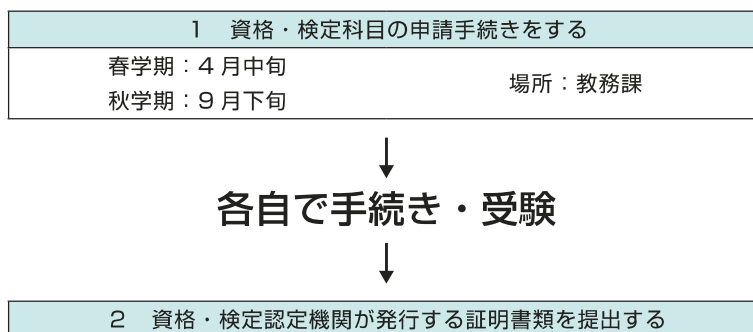
放送大学にて実施される単位認定試験を受験し合格した場合、本学の単位として（基盤教育科目の主体的学び科目群の科目）認定されます。なお、各学期の単位認定の上限は、後述の大学コンソーシアム大阪単位互換協定と合わせて年間2単位までとなります。

受講した学期の成績発表以降に CAMPUS SQUARE にて単位が認定されていることを確認してください。

資格・検定

指定された資格・検定について、本学入学後に、定められた基準以上の成績を修めた場合に、単位を認定します。単位修得を目指す学生は、春学期及び秋学期の開始時のいずれかの期間に、事前に CAMPUS SQUARE にて登録手続きを行う必要があります。詳細については4月に CAMPUS SQUARE にてお知らせします。手続きをせずに資格・検定試験の基準を満たしても単位認定は行いませんので、注意してください。ただし、本学在学中に取得した資格・検定科目であれば、登録手続きを行うことで、次年度以降に単位が認定されます。

【1】登録手続きについて



【2】単位認定について

各資格・検定の認定単位数は2単位です。証明書類の提出の時期によって、単位認定される学期が異なります。詳しくは要項を確認してください。成績については、各学期の成績発表以降に CAMPUS SQUARE にて単位が認定されていることを確認してください。

【3】認定される資格・検定および等級

※ 2022 年 4 月 1 日現在

資格・検定の種類	単位認定基準	対象学部
実用英語技能検定	2級以上	全学部
TOEIC®L&R	500点以上	
TOEIC®S&W	210点以上	
TOEFL iBT®	35点以上	
IELTS (TM)	3.5以上	
日本漢字能力検定	2級以上	
日商簿記検定	3級以上	
実用数学技能検定	準2級以上（ただし1次と2次のどちらも合格した場合に限る）	
ドイツ語技能検定	5級以上	
実用フランス語技能検定	5級以上	
中国語検定	準4級以上	
漢語水平考試（HSK）筆記試験	1級以上	
漢語水平考試（HSK）口頭試験	初級以上	
Microsoft Office Specialist	Word 365&2019 Word 365&2019 エキスパート Excel 365&2019 Excel 365&2019 エキスパート	
ITパスポート試験	—	心理学部 経済学部 経営学部 地域創造学部
統計検定	3級以上	社会学部 経営学部
F P技能検定	2級	経済学部

※ TOEIC および TOEFL は、エデュケーションアルテストングサービスの登録商標です。

▶ 大学コンソーシアム大阪単位互換協定により単位を修得した場合

単位互換とは、他大学の講義を履修することができ、さらに修得した科目が在籍大学の単位として認定されるという制度です。大学コンソーシアム大阪会員の大学が単位互換包括協定を結んで、多彩な科目の提携を行っています。

学修意欲・学習意欲を持ち合わせた学生が、多様な学問領域を学修できる選択肢を広げ、知識習得の中で他大学での交流を通じ幅広い視野を養うことを目的としています。

【申込方法】

本学の履修登録とは別の手続きが必要です。大学コンソーシアム大阪単位互換協定の案内は、各学期開始 1 ～ 2 ヶ月前に CAMPUS SQUARE を通じて配信するので、よく確認するようにしてください。

【特徴】

- 大学コンソーシアム大阪単位互換協定により単位を修得した場合に認められる単位（以下、大学コンソ単位と言う）は履修単位制限⁴に含まれません。なお、各学期の履修の上限は、前述の放送大学の科目と合わせて年間 2 単位までとなります。
- 大学コンソ単位を修得した場合、基盤教育科目の主体的学び科目群の単位として認定され、在学中は最大 4 単位を上限に卒業要件単位として認められます。ただし各学期の単位認定の上限は、前述の放送大学の単位と合わせて年間 2 単位までとなります。成績については、各学期の成績発表以降に CAMPUS SQUARE にて単位が認定されていることを確認してください。

▶ 放送大学・大学コンソーシアム大阪の履修上の注意点について

- 大学コンソーシアム大阪単位互換協定（以下大学コンソーシアム大阪）と放送大学の科目はあわせて各学期最大 2 単位まで履修登録ができます。
- ただし、1 年間で単位認定できるのは大学コンソーシアム大阪の科目と放送大学の科目の単位をあわせて最大 2 単位までです。

	大学コンソーシアム大阪	放送大学	資格・検定
履修登録	各学期 2 単位まで		資格・検定申込数に上限は無いが、在籍期間中に認定される単位の上限は、放送大学を履修して修得した単位と合わせて 4 単位までです。
年間修得上限	年間 2 単位まで		放送大学履修登録時や、資格・検定申込時に注意してください。
卒業要件単位	4 単位まで	4 単位まで	

4. 履修単位制限

⇒ P. 129 を参照。